

いベテルギウスの間に三ツ星が見える特徴的な形をしています。ベテルギウスと共に冬の大三角を形成する、おおいぬ座のシリウスとこいぬ座のプロキオン、オリオンより右手、和名すばる（プレアデス星団）の少し下にあるおうし座のヒヤデス星団にある赤い星アルデバラン、おうしのつのの先にある五角形をしたぎよしや座のカペラ、更に左手にはふたご座の弟ポルクスが1等星です。兄カストルはわずかに暗く2等星です。

星を線でつなぐと見事な六角形になります。これを冬の六角または冬のダイヤモンドと呼んでいます。そうなんです。冬の夜空には、ダイヤモンドが煌めいているから、星たちがキラキラ輝くのです。そして、ダイヤモンドの中を流れる冬の天の川が見えることも、南会津の星空の自慢の一つです。



出展：国立天文台

ご意見・ご要望はコチラまで
商工観光課 電話 0241-62-6200

埼 玉に住んでいたころは、冬になると毎晩暗れて凍り付くような夜空に輝く星を眺めてきました。南会津の冬はなかなか晴れる機会が少なく、晴れたら極寒になるので、星を見る機会がめっきり減ってしまいました。

そ んな南会津の方々にはなじみが少ない冬の星たちですが、実は冬の星座に属する星たちに、1等星が一番多いのです。

そ もそも、1等星とはどんな星でしょうか？それは、紀元前2世紀にギリシャの天文学者ヒッパルコスが、一番明るい星20個を1等星、次に明るい星を2等星、眼で見える一番暗い星を6等星と名付けました。かの有名なガリレオが望遠鏡で月のクレイターや木星の衛星を観測したのが17世紀初めですから、そのはるか昔の時代に、既に星に等級を割り当て星の動きが観察されていたことを

物語ります。そして、19世紀になって等級のスケールが定義され1等星は6等星の100倍明るいことになり、1等星より明るい0等星以上も生まれて、全天で一番明るいシリウスはマイナス1.5等星となりました。なんて言われても、なんだか難しい話なので、ここから先のことは興味のある方はお調べいただくことにして、ここでは明るい星たちを1等星と呼ばせてください。

で は、1等星はいくつあるかご存じですか？全天では21個あります。そのうちのいくつかは日本からは全く見えません。南会津からは、15個の1等星が見えます。春の星座に3つ、夏の星座に4つ、秋の星座に1つ、冬の星座にはなんと7つ見えます。

冬 の星座の中で、おそらく一番有名なのが、オリオン座。2つの1等星、青白いリゲルと赤



木下さん

湯田さん

福島県立会津学鳳高校に通う木下さんと湯田さんは、授業の一環で地域の課題解決や魅力の発信に取り組むことになり、南会津町の林産業に着目しました。

豊かな森林を有する南会津町の林産業は魅力的な産業ですが、若い世代にはあまり知られていないことを踏まえて、まずは「きとね」の魅力を発信し、そこから林産業への関心を高めてもらおうと、今回に至りました。

まず向かったのは「あそぶば」。きとねで一番印象的なのは、木のおもちゃで遊べること！

そう語る2人は置いてある木のおもちゃを取り、楽しげに遊んでいました。2人に感想を聞くと、「小さな子どもたちだけでなく、大人も楽しめると思う」とのことです。



ワークスペースで勉強

そのほかにも、きとねには林産業について学べる「まなぶば」や思い思いの工作が出来る「つくるば」もあります。

次に向かったのは「ワークスペース」。

なぜここを紹介するのかと聞くと、友達が休みの日に勉強しに来ているからとのこと。実際にノートを広げてみると、「木に囲まれた静かな場所だから勉強が捗りそう」と新たな魅力を見つけたようでした。

※ワークスペースは有料で占有利用できるようにするため、利用者がいるときは使用できません。

最後に暖かい暖炉の前で、2人に今後の意気込みを伺いました。



将来を語り合う

「林業がより身近な存在になって欲しいです！」(湯田さん)
「きとねの良さをこれからも広めていきます！」(木下さん)

2人と一緒に南会津町の林産業を盛り上げていきます。



積み木とコマに熱中する2人



【問合せ】
農林課 林業振興係 電話 0241-62-6220